

2023年度安全衛生管理 基本計画書

2023年度 安全標語

『 活かす経験 惜しむな努力

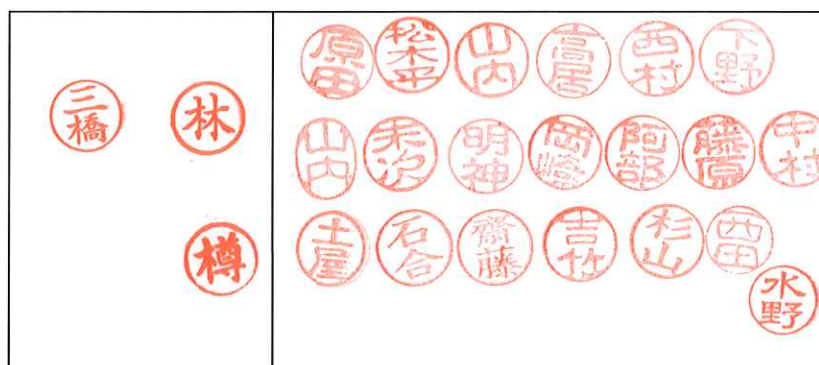
みんなで目指す ゼロ災害 』

2023年4月



株式会社大協建材

安全委員会



1. 2023年度方針

昨年の12月8日、足場組立作業中に鳶工が足場から墜落し命を落とされました。被災された方に対し心からご冥福をお祈り申し上げます。

我々は、仕事を共にする仲間の尊い命が失われたことを重く受け止め、決して忘れることなく、日々の作業に緊張感を持ってあたります。

昨年度の災害・事故・クレームの発生件数は、災害が6件（死亡災害1件、休業災害1件、不休災害4件）、事故が6件、クレームが9件となりました。前年度比で事故が4件増、災害が2件増、クレームは4件増となりました。※内容は別表

墜落による死亡災害が発生しました。被災者が死亡した為はっきりとした原因は不明ですがハーネスのフックが繋がっていませんでした。残念でなりません。

高所作業車による作業で指を切断する重大災害も発生しました。その他の災害4件でも指が絡んでいます。油断と判断ミスが要因の一つと考えられます。

事故の内、2件は高所作業車、1件がゴンドラ絡みの事故でした。周囲の物損、ゴンドラケーブルの破断で、こちらも慣れと油断が要因の一つとなっています。

事故・災害を防ぐ為には、気を緩めず常に緊張感を持って、確実に安全手順を積み重ねていく事が大切です。自分を守る、家族を守る、仲間を守るという思いを強く持ち、全社を挙げて「不安全」・「ヒューマンエラー」を限りなく減らすことに取組んでいきます。

先ずは、大協グループの安全を現場で働くみんなに伝え、みんなで行動する水平展開が重要と捉え、そこから対策を講じていきます。

『人命尊重』という基本理念のもと、「活かす経験 惜しむな努力 みんなで目指す ゼロ災害」を共通の合言葉と捉え『安全確認 無事故 無災害』を目指します。

建設キャリアアップシステム（CCUS）については、更なる普及、推進の為、一人でも多く登録いただき CCUS が有効に機能する様、又、事業者登録率、技能者登録率、就業履歴蓄積率の向上を目指します。

以上の安全活動と、ISO9001品質マネジメントシステムによる品質管理を総合的に展開することにより『安全・安心な企業』として社会的に信頼される会社を目指し努力を継続していきます。

・安全衛生基本方針

- 1・安全衛生管理体制の継続推進
- 2・安全衛生教育及び健康診断の計画的実施
- 3・リスクの低減を図り重大な災害を絶滅する
- 4・組織一丸となった安全衛生管理活動の展開

・2023年度 安全標語

『 活かす経験 惜しむな努力

みんなで目指す ゼロ災害 』

・安全目標

・安全確認・無事故・無災害

・品質目標（営業部門 ISO9001 2015）

・安全＝工事の品質である。

安全確認・無事故・無災害を目指すことにより、顧客から満足いただける品質の施工を提供し、売り上げ目標を達成する。

・重点管理項目及び方策

1. 墜落及び転落災害の防止、重篤災害からの低減

・作業場所の事前及び直前の安全確認 ・ハーネスを繋ぐ、確認、声掛け合い

2. ゴンドラ・高所作業車での事故・災害の防止

・大協ルールの遵守 養生、始業前点検、作動確認、監視体制の確認

3. 熱中症及び感染予防、リスク管理

・水、塩分の定時補給、体調確認、連絡体制の周知 ・作業環境の定期巡回

4. 危険作業・有害要因の低減・排除

・事前検討打合せの実施と確認 ・リスクアセスメント危険予知の活用

5. ヒューマンエラーに起因する労働災害・交通事故の防止

・自身の体調管理と同僚の体調確認 ・現場巡回によるストレス緩和

6. 施工体制の把握、各保険の適応確認

・雇用関係の明確化（労災の適用） ・CCUS への積極的登録

7. 第三者災害・クレームの絶無

・有害要因の洗出しと事前確認の徹底 ・計画検討の協議、実施、確認

・ 2022年度 事故・災害記録

No.	日付	現場名	職種	状況・内容	発生原因等	判定
1	5/14	〇〇ビル (改修) (神戸)	管理者	撤去する鋼管の状況確認で鋼管に体重を掛けた為、鋼管と笠木に左手を挟まれ人差し指を裂傷	現状確認だけの為、安易に無理な体勢で覗き込む行動をとった。8針縫合	□
2	6/3	K 四日市工場 (新築) (名古屋)	シーリング工	立馬作業での建具廻りシーリング養生時、扉が開きバランスを崩し薬指を扉に挟み込み骨折。	無理な姿勢で立馬作業を行った。扉裏への作業表示を怠った。	□
3	6/6	大阪某マンション (新築) (大阪)	シーリング工	ブラケット上の足場板を撤去する際、足場板が滑りブラケットとの間に右手親指を挟み骨折。	自己判断で足場組替えを一人で行った。足場の不具合を元請に相談せず。	□
4	6/10	〇〇〇伊勢神宮前 (改修) (名古屋)	シーリング工	外部足場解体に絡み養生シートの無い状態での作業中、原反シートを隣接の鉄道敷地内へ飛散させた。	養生シートが撤去された危険な状況で原反シートを持って上がった。慣れと油断から。	○
5	11/19	〇〇ビル (改修) (大阪)	シーリング工	テーブルリフト移動時、操作ミスにより石張り腰ベンチへ衝突 笠石のひび割れ及び腰石の損傷	テーブルリフト操作の特性を十分に把握できていなかった。計画、詰め、作動確認に油断	○
6	12/8	〇〇〇大学 (改修) (大阪)	高工	仮設足場組立時、6段目の組立が終わり7段目の組立に取り掛かる準備作業中、親綱にハーネスのフックを掛けずに7段目を移動。その際約11m下の植込みに墜落。心肺停止で救急搬送後、死亡	墜落制止用器具を使用していなかった(フックを親綱にかけていなかった) 高所である事、危険作業である事の認識をしていなかったのでは。	◆
7	12/20	東京某センター (新築) (東京)	シーリング工	高所作業車で旋回した際、仮設支柱に接触しそうになりとっさに手を伸ばした為、右手親指が高所作業車の手摺と支柱の間に挟まり負傷 右母指切断	操作に不慣れた職人に細かな指導ができていなかった。片手で操作していた。慣れからの油断	■
8	1/28	〇〇〇学園 (改修) (大阪)	タイル工	弾性接着剤を除去する為カッターナイフで切取中、滑って刃先が左手親指に接触し切創。縫合 耐切創手袋未着用。	弾性接着剤で貼り付けたタイル下地の状況を認識せず安易にカッターナイフを使用した。油断	□
9	2/8	淀屋橋 SEO ビル (改修) (大阪)	運搬業 運転手	資材搬入の為、2tトラックにて地下駐車場入口スロープに進入 シャッターが下降しているのに気付かず車両の前方上部を追突させ、シャッターを破損させる。	現場担当者がリモコン操作後、通行の確認せずに持ち場を離れた。慣れ・油断 運転手の前方不注意	○

10	2/17	〇〇センター (改修) (神戸)	薦工	枠組足場解体中、建枠を抜いた際、調整枠に固定されていない連結ピンが抜け落ち、玄関扉硝子面に接触・破損させた。 硝子面の養生もしていなかった。	調整枠のピン止めを行っていなかった。 予測できながら、大丈夫と 思い込み対策をしなかった。	○
11	2/22	東京某競技場 (改修) (東京)	シーリング 工	高所作業車で施工場所移動の際、設置した場所が軒天井下に入っ たのを気付かず上昇、軒天パネル に接触し破損させた。	上部の安全未確認 思い込みによる判断ミス 近道行動 ※大協ルール守られず。 手摺廻り養生なし。	○
12	3/2	安土町〇〇〇ビル (新築) (大阪)	シーリング 工	屋上にて常設ゴンドラを旋回さ せた際、ゴンドラ土台に固縛して いたキャブタイヤを断線させた。 当事者より大協担当者への報告 が遅かった。	キャブタイヤの固縛は現 場ルールで禁止されてい たが、注意事項を周知でき ていなかった。 作業手順、監視体制が曖昧	○

○：事故 □：災害 ■：休業災害 ◆：死亡災害

・ 2022年度 クレーム記録

No.	日付	現場名	職種	状況・内容	発生原因等	判定
1	3/31	〇〇〇心斎橋 (改修) (大阪)	工事 担当者	4年前施工の外壁パネル面塗膜の剥がれについて、指摘を受けていたが、対応出来ていないと顧客の所長から会社へクレーム	顧客現場担当者とは協議をしていたが、顧客の所長へは報告が上がらなかった。	□
2	4/26	〇〇〇学園 (改修) (大阪)	調査工 工事 担当者	外壁タイルの調査マーキングで調査した職方の調査精度が悪いと指摘を受けた。	判定基準の曖昧さと、元施工時の施工がわからず、劣化状態が把握できていなかった。共浮の発生	□
3	7/7	〇〇イン (改修) (名古屋)	工事 管理者	労基署の臨検の際、防水材の一斗缶の蓋を開けたまま放置し、是正勧告を受けた。	保管状態、方法が認識できていなかった。強固な蓋で密閉が必要	□
4	9/26	中外 (新築) (東京)	防水	ポリマーセメント系防水の防水層の浮き、膨れで指摘をうけた。	膜厚の中で、中と表面の硬化速度が日射温度によって変わり、表面が蓋をするような状態で、中の水分などが膨れ上がった。	□
5	11/7	〇〇ブレーン (改修) (名古屋)	塗装	塗装工事に於いて、塗膜管理、塗布量について足りていないと指摘を受けた。	計画書が提出されていない状態で、品質管理記録が疎かであった。塗布量不足について、速やかに対処が出来ていなかった。	□
6	1/18	〇〇和歌山工場 (改修) (大阪)	シーリング 工	高所作業車のカゴを仮設足場に接触した際、少し触れただけで問題無いと判断し職長へ報告をしなかった。鳶工が目撃しており報告がないことにクレーム	接触した後に、問題無いと自己判断し報告をしなかった。 接触した時点で事故と考え報告が必要。	□
7	1/19	〇〇邸 (改修) (大阪)	設備 工事	入れ替えたキッチンの排水がもれ床面に流れ出た。キッチン台下の清掃の仕方に不信感を持たれた。	キッチン施工時に排水管の接続を確認しなかった。清掃を安易にしてしまった。	□
8	2/24	安土〇〇〇ビル (新築) (大阪)	搬入 業者	現場の入口ゲートを出る際、敷地外で後ろの車両と追突した為、現場へ報告をせずに警察へ通報した。入口ゲート付近で現場検証	敷地外との認識で判断してしまった。工事担当者へも報告が上がらず、現場へご迷惑をお掛けした。	□
9	3/16	〇〇〇大学 (改修) (大阪)	鳶工	校内及び周辺は禁煙というルールにも関わらず、校門を出たところで喫煙し学校に注意を受けた。元請に迷惑をお掛けする。	鳶工は校内が禁煙と認識していた為に喫煙した。 管理側で周知方法に問題が無かったのか。	□

□：クレーム ○：不満

2. 年間安全衛生管理活動

・安全衛生協議会（なんでや会）

毎月開催（6月を除く）

安全・品質管理活動の水平展開・マナー講習・大協会（安全協力会）との交流

・大協建材 3ない宣言『 走らない！ 飛ばない！ あわてない！ 』運動の展開

指差呼称による啓蒙活動の完全実施、ヘルメットステッカーの貼付

・新規従事者教育

6月を除く毎月開催（安全衛生協議会開催前）

新しく大協建材の仕事に従事される方全員を対象に安全衛生教育及び弊社の説明

作業従事者向上教育の実施（再教育）5年毎程度

・安全パトロール（別紙 編成表）

毎月実施 1班編成 7, 9, 12, 3月は2班編成 協力会社と合同実施

実施要項 新築・改修の現場をそれぞれ巡回

・安全大会

6月開催 6月15日 木曜日 大阪府立体育会館（大阪本社）18時～

・週間・月間・期間

・全国安全週間 準備月間 6月1日～6月30日

本週間 7月1日～7月7日

・全国労働衛生週間 準備月間 9月1日～9月30日

本週間 10月1日～10月7日

・建設業年末年始労働災害防止強調期間 12月1日～1月15日

・建設業年度末労働災害防止強調月間 3月1日～3月31日

上記期間中の取組

・特別安全衛生パトロール実施（安全委員会）

・大協会事業主パトロールの実施

・ポスター掲示・ワッペン着装（配布）、安全行事への積極的参加

・技能講習への派遣（支援）

・有機溶剤取扱作業主任者 2日間講習 対象受講者：選抜

・酸素欠乏危険作業主任者（第2種） 3日間講習 対象受講者：選抜

・石綿作業主任者 2日間講習 対象受講者：選抜

・職長・安全衛生責任者教育・能力向上教育 2日間講習 対象受講者：選抜

- ・高所作業車運転（10m以上） 3日間講習 対象受講者：選抜
- ・玉掛け（1 t 以上） 3日間講習 対象受講者：選抜
- ・特別教育の開催（無償） 会場：大協ビル 8 階会議室
 - ・足場組立作業従事者 6 時間教育 未定
 - ・フルハーネス型墜落制止用器具 6 時間教育 未定
 - ・酸素欠乏危険作業従事者 6 時間教育 未定
 - ・石綿取扱作業従事者 4.5 時間教育 未定

3. 安全委員会

・2023 年度組織

会 長	担当役員	執行役員統括部長	原田 悟			
副会長			松木平 徹（大阪）			
			山内 雅也（東京）			
			高居 慎一（名古屋）			
			西村 隆幸（金沢）			
			下野 透（神戸）			
幹 事			山内 俊輔			
委 員	（大 阪）	末次 康人	明神 忠夫	岡崎 航	阿部 彩斗	
		藤原 誠	中村 友哉			
	（東 京）	土屋 明	石合 周作	齋藤 将貴		
	（名古屋）	吉竹 翔矢				
	（神 戸）	杉山 孝知				
	（㈱ダイトーマテリアル）		西田 康秀			
担当事務			水野 純子			

- ・会 議（安全委員会）本年度 6 回開催
5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月 最終週の平日
- ・2023 年度安全衛生管理計画書 別紙による
- ・災害発生に伴う緊急連絡先 別紙による
発信資料 安全月報 安全委員会開催翌月発信（年 6 回）
毎月の「安全スローガン」と「重点管理項目」の掲載

2023 年度 (2023 年 4 月～ 2024 年 3 月) 安全衛生管理計画書

安全標語 「 活かす経験 惜しむな努力
みんなで目指す ゼロ災害 」

安全衛生目標 安全確認・無事故・無災害

基本方針	1 安全衛生管理体制の継続推進
	2 安全衛生教育及び健康診断の計画的実施
	3 リスクの低減を図り重大な災害を絶滅する
	4 組織一丸となった安全衛生管理活動の展開

安全衛生管理体制		役 職 名	氏 名
	担 当 役 員	専務 執行役員	末次 康人
	雇 用 管 理 責 任 者	執行役員 総務部 部長	前田 中
	統括安全衛生責任者	専務 執行役員	末次 康人
	総括安全衛生管理者		
	安 全 管 理 者		
	衛 生 管 理 者		
	安 全 衛 生 推 進 者	安全部 部長	山内 俊輔
	工 事 担 当 責 任 者		各作業所による (各現場責任者)

会 社 名 株式会社 大協建材



重 点 施 策	実 施 項 目	目 標	担 当	年間（年度）スケジュール													実施上の留意点	その他
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1. 安全衛生管理体制の継続推進	1-1 安全衛生管理基本計画の検証及び作成	毎年1回（検証・次年度計画に活用）	安全委員会														4月 発信・水平展開 全員参加 リモート会議併用 大協会自主安全協議会の報告確認 大協会と合同実施・内容の充実 雇用関係の明確化・特別加入 グループ全体で認識共有	6月 安全大会 健康状態・資格・保護具
	1-2 安全委員会活動の積極的展開	会議 年6回 パトロール 年4回（7, 10, 1, 3月）	〃			◎		◎		◎		◎		◎				
	1-3 安全衛生協議会の定期開催・内容改善	主要会社、全社員の参加・ヒヤリハットの発信	安全委員会・担当責任者	←														
	1-4 安全パトロールの実施	毎月1回（7. 9. 12. 3月の4回は2班体制）	工事担当責任者	←														
	1-5 施工体系及び労災保険適用の確認	施工体系の明確化・労災保険の確認 100%	工事担当責任者・総務部	←														
	1-6 建設キャリアアップシステムに関する取組	登録の推進 事業者登録率75%	安全衛生推進者・総務部	←														
2. 安全衛生教育及び健康診断の 計画的実施	2-1 雇入教育・雇入時健康診断の完全実施	新規採用時 100%	雇用管理責任者	←												社規定による教育・指定病院 社内教育の一環としての取組 外部講習へ派遣 選抜40名程度支援 業務従事者全員が対象 作業従事者向上教育も視野		
	2-2 安全衛生教育の実施	新入社員安全衛生教育 100%	安全衛生推進者・総務部	←														
	2-3 資格講習への派遣（一部支援）	向上教育講習を含む必要資格取得の支援	安全委員会	←														
	2-4 定期健康診断の受診（一部支援）	一年以内、定期的に1回 100%	事業主責任者	←														
	2-5 新規従事者教育の継続実施	グループ全体を対象に基本教育の実施 100%	安全衛生推進者・安全委員会	←														
3. リスクの低減を図り 重大な災害を絶滅する	3-1 着工会議・周知会の実施及び書類審査	本工事（重要案件）実施 その他書類審査	担当責任者・安全委員会	←												着手前実施 リスクヘッジ（危険回避） 現場の特性に沿った指導 大協会の積極的参画 大協会の積極的水平展開 安全委員会を中心とした検証 グループ全体で水平展開と活用	元請資料の伝達 元請の確認	
	3-2 送り出し教育の実施・指導	100%実施 元請資料に基づく	〃	←														
	3-3 作業手順書の作成と伝達・遵守・確認	着手前に基本的な事を含めて確認	〃	←														
	3-4 ヒューマンエラー防止教育啓蒙活動	安全協議会で継続的实施・映像の活用	安全委員会	←														
	3-5 速報・続報の発信による再発防止活動	速報-発生後2日以内・続報-必要に応じて発信	工事担当責任者・安全委員会	←														
	3-6 状況に応じたマニュアル・点検表の作成、活用	継続的更新・水平展開・活用	安全委員会・総務部	←														
4. 組織一丸となった 安全衛生管理活動の展開 （作業所・事業場）	4-1 安全施工サイクルの実施・現場規則の遵守	100%実施	工事担当責任者	←												大協会への水平展開 マンネリ化で終わらせない 乗り込み時同行 現場毎の行事への参加 ルールの把握、リーフレットの活用 最新の点検表に基づく確認	休日の取得状況	
	4-2 リスクアセスメント危険予知の完全実施	100%実施・事前点検を考慮・検討する	（又は職長・安責者）	←														
	4-3 新規入場者教育（職長受入時）確認	100%実施	〃	←														
	4-4 安全行事への積極的参加	全作業従事者が参加 100%	〃	←														
	4-5 大協ルールの遵守・実施確認	高所作業車・ゴンドラの取扱 仮設足場組立・解体	〃	←														
	4-6 事業主点検の定期的実施	職方のストレス緩和・健康状態の確認等	〃	←														
5. 年間行事	5-1 安全大会	6月15日	安全委員会・全社員			◎										全社員・大協会の参加 安全管理活動の推進 〃 〃 大協建材・大協会 参拝 安全管理活動の推進		
	5-2 全国安全週間（準備月間）	（6月1日～6月30日） 7月1日～ 7月7日	〃			↔	◎											
	5-3 全国労働衛生週間（準備月間）	（9月1日～9月30日） 10月1日～10月7日	〃					↔	◎									
	5-4 建設業年末年始労働災害防止強調期間	12月1日～1月15日	〃															
	5-5 安全祈願	1月初出日	全社員										◎					
	5-6 建設業年度末労働災害防止強調月間	3月1日～3月31日	安全委員会・全社員												↔			